

サイバービジョン展開でのIoXセンサーのトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[センサーCLIへの接続](#)

[重要なディレクトリ](#)

[構成.yml](#)

[PCAPキャプチャ](#)

[IoXセンサーからのファイルの取得](#)

[ローカルマネージャGUI](#)

[TFTPによるファイルのコピー](#)

[センサーヘルス](#)

[ステータス](#)

[処理ステータス](#)

[diagファイル内の重要な情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、IoX Sensor on Cyber Visionソリューションを使用する際のトラブルシューティングに必要な重要事項について説明します。

センサーCLIへの接続

センサーアプリケーションに直接アクセスすることはできません。まず、SSHを介してスイッチに接続する必要があります。次に、showコマンドを使用して、実行されているアプリケーションを一覧表示します。

```
Show app-hosting list
```

アプリケーションがインストールされているかどうかを確認し、その名前を文書化します。次に、と入力します (「ccv_sensor_iox_aarch64」は、この例ではアプリケーション名です)

```
app-hosting connect appid ccv_sensor_iox_aarch64 session
```

重要なディレクトリ

構成.yml

これは、フロー、プロトコル、およびポート情報の設定を文書化する重要なコンフィギュレーションファイルです。このファイルは次の場所にあります。

```
/iox_data/etc/flow
```

PCAPキャプチャ

GUIから実行およびトリガーされるキャプチャは、

```
/iox_data/var/flow/log/pcap
```

IoXセンサーからのファイルの取得

ローカルマネージャGUI

ローカルマネージャのGUIからアプリケーションに移動すると、「App-DataDir」タブに /iox_data/appdataディレクトリにあるファイルが表示されます

アプリの下の「ログ」タブには、 /iox_data/logs内のファイルが表示されます。

TFTPによるファイルのコピー

センサーのCLIから、次のコマンドを使用してリモートTFTPサーバにファイルをコピーできます。

```
tftp -p -l /iox_data/appdata/
```

-r

センサーヘルス

Center GUIから、Administration → Sensors → Managementの順に移動して、Sensorの詳細を表示します。これらは、使用可能な接続および処理ステータスです

ステータス

- 新規
- 要求は保留中です
- 認定
- 切断
- 接続
- 不明
- SSH

処理ステータス

- 未登録
- 切断
- データ待ち
- 保留中のデータ

- 通常処理

diagファイル内の重要な情報

日付：診断が実行された時刻をレポートします。

Ip_addr：設定されているすべてのインターフェイスのIPアドレスとネットワーク情報を報告します。

Ip_route – 設定されたゲートウェイを報告する

Journal_errors：開始に失敗したサービスをレポートします

Journal_sensorsyncd - TLC接続情報を報告する

メモリ：使用中のメモリ量を報告します

sbs-version：メインバージョンとビルド日付をレポートします。

sensor-enroll.conf : 登録パッケージで設定されたIPをレポートします。

top:12秒以内に4つの「上位」コマンドをCPUでソートしてレポートします。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。